

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム 小春の家

目標達成計画書

作成日: 平成 27 年 05 月 14 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	理念の共有と実践	開設時の理念を掲示しているが、理念について話し合う時間もないので、職員会議の中で理念について職員全員で話し合い、理念に沿った介護サービスの提供に取り組んでいく。	毎日の申し送り時に理念を職員が唱和し、理念に基づいた介護の実践に取り組めるように、職員一人ひとりが、常に理念を意識し、毎年目標を立てて、利用者本位の介護サービスの提供に取り組んでいく。	12ヶ月
2	10	運営に関する利用者、家族等の意見の反映	家族との関係が、利用者の利用年数が長くなるに比例して、希薄になっているので、家族との関係を再構築し、家族がいつでも訪問しやすい雰囲気の中で、利用者家族と職員が、コミュニケーションを図っていく。	家族同士が悩みや心配事について話し合える「家族会」を行事を兼ねて開催し、ホームと何でも話し合える環境を整え、利用者がホームを終の棲家として、安心出来る体制を作っていく。	12ヶ月
3	4	運営推進会議を活かした取り組み	会議は行政と地域包括支援センター職員と、他事業からの参加のみで、他の参加者がいないため、参加者を増員し、会議の内容の記録の充実を図り、ホーム運営に反映出来る運営推進会議にしていく。	地域住民代表や民生委員、有識者や知見者等を委員として募り、会議を通じて、様々な意見や情報が提供出来る会議にして、ホーム運営や、業務改善に取り組んでいく。	12ヶ月
4	37	災害対策対策	26年度は避難訓練を実施していないので、今年度は、消防署の協力と指導を得て、2階の利用者9人が夜間の非常時にどのようにしたら、安全に避難場所に全員が避難出来るかを訓練の中で、検証していく。	地域住民の参加と協力を得て避難訓練を実施し、避難場所での見守りをお願いしたり、隣接の代表の自宅からの応援体制の確立と、非番の職員の救急時の支援体制の確保を検討していく。	12ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。